

チラシ

雑誌名	国立民族学博物館調査報告
巻	118
発行年	2014-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10502/5375

世界における無国籍者の 人権と支援—日本の課題

Human Rights and Support for Stateless People around the World: Japan's Role



国立民族学博物館

機関研究「支援の人類学」

Core Research Projects, "Anthropology of Supporting"



身分証明書上にある国籍の国に
「あなたは認められない」といわれ、
実は自分が無国籍者であると知ったら、
あなたはどうしますか？

無国籍の削減に関する条約が
採択され今年で50年です。
日本にも無国籍者がいますが、
締約国ではありません。
私たちはどうすればいいのでしょうか？

I am stateless. I have no *nationality*.

日時:2011年2月27日[日] 2011.2.27[Sun]

【午前】10:00 - 12:00 ▶ 第4セミナー室 (先着80名)

【午後】13:30 - 17:00 ▶ 講堂 (先着450名)

●参加費無料・申込不要: Entrance free

●使用言語:日本語及び英語(同時通訳有り)

Languages: Japanese & English (Simultaneous interpreters provided)

詳しくはHPをご覧ください。Please visit our website for more information.

問い合わせ先: 国立民族学博物館 陳天璽研究室

National Museum of Ethnology, Research Office of CHEN Tien-shi

e-mail ▶ stateless2011@idc.minpaku.ac.jp

tel ▶ 06-6876-2151

website ▶ www.idc.minpaku.ac.jp

主催: 国立民族学博物館 Organizer: National Museum of Ethnology

協力: 無国籍ネットワーク In Cooperation with: Stateless Network

後援: 国連難民高等弁務官事務所、移民政策学会 Supported by: UNHCR, JAMPS

協賛: 文部科学省科学研究費「グローバル化時代の国籍とパスポートに関する文化人類学的研究」

Co-sponsored by: MEXT Grants-in-Aid for Scientific Research, "An Anthropological Study of the Dynamics of Passport and Migration"

みんぼく
携帯
サイト



世界における無国籍者の人権と支援—日本の課題

国際シンポジウム International Symposium

だれでも、国籍を持っていて当然だと思いませんか？

世界には国籍を持たない無国籍者がおよそ1,200万人いると推計されています。国籍のない人々は、どのような問題を抱えているのでしょうか。世界や日本における無国籍者の認定、支援の現場を比較検討し、グローバルな支援のあり方について、みなさんと一緒に考えたいと思います。

プログラム

【午前】 10:00~12:00 場所：第4セミナー室

国際ワークショップ「無国籍者の支援の現場—市民社会からのアプローチ」

On-the-Ground Support for Stateless People: A Civil Approach

- 10:00 開会あいさつ・趣旨説明 陳天璽 (国立民族学博物館)
- 10:20~12:00 無国籍の人々を支援している日本及び海外の市民団体の実務家や無国籍者をお迎えし、支援の現場の実状を明らかにします。また、市民社会でどのような支援ができるのかについてディスカッションを行います。
- ①「タイの無国籍者支援の現状」 ボンコット・ナハウンボーン NAPAUMPORN Bongkot (Bangkok Legal Clinic for Legal Personality and Rights of Persons)
 - ②「無国籍者の支援と課題」 小田川綾音 (無国籍ネットワーク・弁護士)
 - ③「無国籍者として生きてきて」 丁章 (詩人・無国籍者)
 - ④「在留資格のない生活—住居、仕事、医療問題」 齋藤瞬 (ぼたらか)
- ディスカッション コメント：月田みづえ (昭和女子大学)、石井宏明 (難民支援協会)

【午後】 13:30~17:00 場所：講堂

国際シンポジウム「無国籍の認定と保護—国際比較と協力構築」

Determination and Protection of Statelessness: International Comparison and Construction of Cooperation

- 13:30 開会あいさつ 須藤健一 (国立民族学博物館・館長)
- 趣旨説明 陳天璽
- 13:45~ ●講演1 ブノワ・メスラン MESLIN Benoit (フランス難民無国籍保護事務所・OFPRO)
- 「フランスにおける無国籍者の認定と保護」
“Determination and Protection of Stateless Persons in France”
- 講演2 クリタヤ・アーチャバニクン ARCHAVANITKUL Kritaya (マヒドン大学 人口・社会調査研究所)
- 「タイにおける無国籍者の管理」
“Towards Managing Stateless People in a Thai Context”
- 講演3 阿部浩己 ABE Kohki (神奈川大学法科大学院)
- 「無国籍の情景—国際法の視座、日本の課題」
“Overview of Statelessness: International and Japanese Context”
- [休憩]
- 15:30~ 総合討論
- 無国籍者の認定制度と人権に着目し、ディスカッションを行います。無国籍の問題に携わっている研究者のほか、弁護士、国連難民高等弁務官職員、無国籍者を交えて討論します。[無国籍の削減に関する条約]採択50年を迎え、いま国際社会、そして日本になにが求められているのか問い直します。
- モデレーター：阿部浩己、陳天璽
- パネリスト：小豆澤史絵、国連難民高等弁務官職員、無国籍者、ブノワ・メスラン、クリタヤ・アーチャバニクンなど
- 16:50~17:00 閉会の辞 鈴木紀 (国立民族学博物館)

関連事業 Related Event



日本劇場未公開作
関西初上映

みんなくワールドシネマ

映画に描かれるく包摂と自律
—国境と民族を越えて—

「あなたなしでは生きていけない」

不能没有你/No Puedo Vivir Sin Ti
Cannot live without you
台湾を舞台に、法的身分のない子どもを描いた感動作

第9回上映会 2011年2月26日(土) 13:30~16:00(開場13:00)

- 場所 国立民族学博物館 講堂
- 参加料 無料 (ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)
- 定員 450名 入場整理券を10:00から講堂入口にて配布いたします。事前申し込みは不要です。
- 主催 国立民族学博物館
- 協力 福岡市総合図書館/アジアフォーカス・福岡国際映画祭/ 派對園電影有限公司/ 原子映像有限公司

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。

「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分(自然文化園を通過する際、250円の入園料が別途必要となります。ただし、みんなくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。)

「公園東口駅」下車徒歩約15分(「公園東口駅」からは自然文化園を通過せずに来館できます。)

●バス

(近鉄バス) 阪大本部行き 阪急茨木駅/JR茨木駅発「日本庭園前」下車、徒歩約15分

(阪急バス) (万博記念公園駅経由千里中央行き)

阪急茨木駅/JR茨木駅発「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

●自動車

駐車施設がないため「みんなく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。

